

統計からみるポケモン対戦について

東京都立戸山高等学校SS情報 2年 高橋功次

1. 研究動機

日本で発売されているポケットモンスターシリーズにはインターネット対戦機能がある。そこで、全体のポケモンの使用率と、上位者でのポケモンの使用率を比べ統計的なデータをとることによって、どのようなポケモンやパーティが勝ちやすいのかを知ることができるのではないかと思い、この研究に至った。
(※パーティとは、いわゆるポケモンゲーム内における手持ちポケモン6体のことを指す。)

2-(1). 研究目的

統計的な分析から、ポケモン対戦における勝率をできるだけ高める。

2-(2). ポケモン対戦の仕組みについて

今回はシングル対戦(パーティ6体から3体選出するルール)についてのみ扱う。

ポケモン対戦で主となる要素は、

- ① **ポケモンの育成、パーティ作成**
- ② **選出**
- ③ **プレイする人の力量、運** の3つである。

①については、まず各ポケモンのもととなるステータス(種族値)を見たり、好きなポケモンを使ったりして育成→パーティの構築という段階を踏んでいく。ポケモンごとの使用率やそのポケモンがどのように育成されているのかなどのデータはポケモン公式が出しているポケモンHOMEというアプリで詳細を知ることができる。②については、相手のパーティを対戦の前に確認してから、タイプ相性やポケモン同士の相性を見て自分が出すポケモン(選出)を決める。③については、言うまでもなく勝率を上げるためにはゲームを操作するプレイヤーの経験や時には運が必要になってくる。

3. 研究方法

ポケモンHOMEよりプレイヤー全体のポケモン使用率と、インターネットにパーティを公開している上位者(順位で1位~100位)の中でのポケモン使用率を求め、比較をする。その中で、両者間での相違点や特異点から勝率を上げるためのポケモンやパーティの工夫について考察をする。今回は、**7/1-10/1の3か月間(シーズン8-10の3シーズン)の全体のポケモン使用率と上位者のポケモン使用率**について考える。

4. 結果

余白の都合上、シーズン9についてだけしか掲載できていないが、図1・表1のように全体の使用率と上位者内での使用率を比べ、表1に全体の使用率より上位者内での使用率が高いポケモンは水色、顕著に高いポケモンは青色、使用率が低いポケモンは赤色、使用率があまり変化していないポケモンは黄緑色で示した。

5. 考察

各シーズンごと(一か月ごと)に考察をしていく。

(i) シーズン8(7/1-8/1)

このシーズンは多数のポケモンが追加使用可能になった。そのため全体の使用率を見ると準伝説が高順位にきている。しかし、上位者内での使用率を見るとウーラオスは使用率がより高くなっている一方で、ヒードランやランドロスといった準伝説たちの使用率は非常に低くなっている。現環境として、上位者を見ると強いじめんタイプが多くほとんどのパーティに地面タイプが入れている。そのためヒードランは強いとも言えないしディンルーやガブリアスの存在によってランドロスの強さもあまり注目されていない。

(ii) シーズン9(8/1-9/1)

このシーズンの上位者使用率を見ると特に8位-11位のランドロス・ミミッキュ・ウーラオス(悪)・イダイトウが使用率が高くなっている。テラバーストを使えるようになったランドロスの性能はやはり高く前シーズンでは強い型があまり見つかってなかっただけ、という感じがする。ウーラオス(悪)は確かにウーラオス(水)などには弱いタイプがあまり見つかってなかった。自分だけタイプがわかるという情報アドバンテージが確かにある。強いことは間違いない。イダイトウはラスト1体の性能としておはかまわりという技が非常に強くこれからの樺梓としての活躍が予想される。

(iii) シーズン10(9/1-10/1)

なんといってもこのシーズンで注目すべきなのはオーガボンとキョジョーンについてである。このシーズンではオーガボンという新たな準伝説が追加されたのだがこのポケモンは持ち物によってタイプを変えることができる。そのため使用率はとても高くなるし使わない理由はあまり見つからない。ちなみに草タイプ・炎タイプ・水タイプの中では炎タイプがよくつかわれている。またキョジョーンについては全体での使用率が22位なのに対して上位者内では6位になっている。このポケモンはこのシーズン以前からも上位者内でよく使われていて塩漬け自己再生する身代わりという技構成がテンプレでとてもつかわれている。



図1 ポケモンHOMEでのシングルバトルの上位者のポケモンのデータ(シーズン9)

表1 順位上位者内でのポケモン使用率順(シーズン9)

ポケモン	上位(100)の使用率(%)
1 ハバタクカミ	74.28571429
2 カイリユー	65.71428571
3 パオジアン	51.42857143
3 ウーラオス(水)	51.42857143
5 サーフゴー	45.71428571
6 イーユイ	31.42857143
7 ディンルー	28.57142857
8 ランドロス(雷)	25.71428571
9 ミミッキュ	22.85714286
9 ウーラオス(悪)	22.85714286
11 イダイトウ	17.14285714
12 テツノツツミ	14.28571429
13 ヒードラン	11.42857143
13 ジバコイル	11.42857143
13 ドヒドイデ	11.42857143
16 ガチグマ	8.571428571
16 ロトム(水)	8.571428571
16 ガブリアス	8.571428571
16 チオンジェン	8.571428571
20 ハッサム	5.714285714
20 ヘイラッシャ	5.714285714
20 サンダー	5.714285714
20 ドオー	5.714285714
20 カバルドン	5.714285714
20 テツノカイナ	5.714285714



図2 オーガボン(かまどのおめん)

6. 今後の展望

あまり時間もないが、ひとまず11月・12月についての使用率についても考察をし、最後に今までの考察から1月や2月のポケモン使用率とどのようなパーティが勝ち進むのかについて予想をして考察が正しかったのかなどを確かめていきたい。

7. 参考文献

- 構築記事まとめ | ポケの記事 (poke-article.com)
- 【ポケモンSV】パーティ構築一覧 | ランクマ上位 | ゲームエイト (game8.jp)
- PokemonHOME